

施設整備計画 事後評価シート(総括票)

※この総括票については、計画年度終了時点における施設整備計画(計画を変更しているものについては、最終変更後の計画)に基づいた事後評価の結果を記入すること。
また、その評価を行った施設整備計画を添付すること。

1 公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する目標の達成状況について

①地震、津波等の災害に備えるための整備

【達成状況】

<input type="radio"/>	計画どおり実施できた。
<input type="checkbox"/>	計画したが、一部実施できなかった。
<input type="checkbox"/>	計画したが、すべて実施できなかった。

(耐震化率の目標に対する達成状況)

学校区分	耐震化率(%)	
	目標	達成状況
小学校	100.0	100.0
中学校	100.0	100.0
高等学校	—	—
特別支援学校	—	—
幼稚園	—	—

【所見】

・西池小学校校舎、国富小学校校舎、宮崎南小学校校舎、本郷小学校校舎、佐土原小学校校舎、広瀬小学校校舎及び体育館、広瀬北小学校校舎及び体育館、穆佐小学校校舎、宮崎東中学校校舎、宮崎中学校校舎、宮崎西中学校校舎、大淀中学校校舎、大宮中学校校舎、赤江中学校校舎、佐土原中学校校舎、高岡中学校体育館について、耐震補強工事を行い、小中学校の耐震化率は100%を達成した。なお、国の経済危機対策補正予算を活用して、事業実施を前倒したことにより、当初の計画よりも、1年早く耐震化を完了することができた。

・海岸から3km未満かつ標高6m以下の学校(檜小学校、潮見小学校、赤江小学校、青島小学校、宮崎港小学校、宮崎中学校、青島中学校)に、屋上への避難階段を設置した。

・児童生徒の安全確保のため、国富小、木花小、住吉小学校、東大宮小学校、江南小、宮崎中学校、宮崎西中学校、檜中学校、宮崎北中学校、生目中学校、東大宮中学校については、校舎の外壁改修を行い、加納小学校、赤江東中学校、清武中学校については、体育館の屋根材接合部の補強を行った。

②防犯対策など安全性の確保を図る整備

【達成状況】

<input checked="" type="checkbox"/>	計画どおり実施できた。
<input checked="" type="checkbox"/>	計画したが、一部実施できなかった。
<input checked="" type="checkbox"/>	計画したが、すべて実施できなかった。

【 所 見 】

--

③教育環境の質的な向上を図る整備

【 達 成 状 況 】

<input type="checkbox"/>	計画どおり実施できた。
<input type="radio"/>	計画したが、一部実施できなかった。
<input type="checkbox"/>	計画したが、すべて実施できなかった。

【 所 見 】

・老朽化の著しい校舎について、大宮小学校、清武中学校については全面的な改修を行い、穆佐小学校については改築移転を行った。
・国富小学校について、児童数増加による教室不足を解消するために、校舎の増改築を行った。
・江平小学校、佐土原小学校、清武小学校、大淀中学校、赤江中学校、青島中学校について、老朽化したトイレの全面的な改修工事を行った。また、宮崎小学校、江平小学校、赤江小学校、瓜生野小学校、国富小学校、木花小学校、田野小学校については、体育館(屋内運動場)が避難所に指定されているが、トイレが未設置だったため、新たに設置した。
・大宮小学校、江平小学校、宮崎西小学校、生目台東小学校、生目台西小学校、田野小学校について、防塵対策及び地球温暖化対策の推進を図るため、屋外運動場の芝生化を行い、大宮小学校、国富小学校、檜北小学校、田野小学校、穆佐小学校、佐土原中学校については、省エネ対策と地球温暖化対策の推進を図るため、太陽光発電パネルを設置した。
・下肢等に障害のある生徒が、階上階下への移動を安心してできるように、本郷中学校校舎にエレベーター設置し、渡り廊下の改修を行った。
・小学校43校、中学校23校、倉岡幼稚園、公民館9館について、地上デジタル放送を視聴できる環境整備を行った。なお、一部小学校及び中学校の体育館については、計画には含めていたものの、事業内容を精査した結果、他の事業と比較して、必要性及び緊急性が低いと判断したため、整備を実施していない。

④施設の特性に配慮した教育環境の充実を図る整備

【 達 成 状 況 】

<input type="radio"/>	計画どおり実施できた。
<input type="checkbox"/>	計画したが、一部実施できなかった。
<input type="checkbox"/>	計画したが、すべて実施できなかった。

【 所 見 】

・国富小学校、木花小学校について、プール授業の充実を図るために、低学年用の小プールを建設した。
・檜中学校について、より機能的で効率的な武道教育の環境づくりを推進するため、武道場を新設した。

2 事後評価の時期及び方法について

・本整備計画に計上した全ての事業が完了(平成25年3月)した後、本市教育委員会事務局において、事後評価を行った。

3 事後評価の総合所見及び今後の施設整備計画への反映等について

- ・本整備計画において計画していた事業は、ほぼ計画通り実施することが出来た。
- ・校舎及び体育館建物本体については、耐震化率100%を達成することが出来たので、今後は、吊り天井や外壁などの非構造部材についても、耐震化を推進していくこととする。
- ・緊急性や優先度を考慮しながら、老朽化した校舎の改修や長寿命化を計画的に実施していくこととする。